

## 今季決勝大会の決勝戦において採用する 「ノー・アドバンテージスコアリング方式」

両方のプレーヤー・チームが3ポイントずつを取ってデュースになったら、そこでディサイディング・ポイントプレーする。その時、レシーバーは右コートでレシーブするか左コートでレシーブするかを決める。ダブルスのレシーバーチームはレシーブする隊形を変えてはいけない。ディサイディング・ポイントを取った方がそのゲームの勝者となる。

ノーアドの試合では、レシーバーはどちらのコートでレシーブするかを速やかに選択しなければならない。一度選択した後に変更することはできない。

ノーアドの試合で、誤ってスタンダード方式で行い、誤りに気づいた場合は、

- ① 誤りに気がついた時デュースであったら、ただちにノーアドに切り換える。
- ② 誤りに気がついた時アドバンテージAなら、もう1ポイントプレーする。
  - a) 次に、Aが取ればゲームAで終了する。
  - b) 次に、Bが取ればデュースになり、ここでノーアドに切り換える。
- ③ 誤りに気がついた時ゲーム終了だったら、その結果は成立する。

## ワンコイン制度について

2008年「ナショナルトレーニングセンター」が設立され、それを資金面から支える「ワンコイン制度」がスタートしました。

ナショナルチームの選手や、ジュニアナショナル選手がナショナルトレーニングセンターで合宿や強化練習に取り組んでいます。又、ナショナルトレーニングセンターで蓄積された指導育成ノウハウは、地域／都府県に逐次伝達されています。

詳しくは、(公財)日本テニス協会の [http://www.jta-tennis.or.jp/representation\\_from\\_Japan/tabid/202/Default.aspx](http://www.jta-tennis.or.jp/representation_from_Japan/tabid/202/Default.aspx) をご覧下さい。

■東京都テニス協会が主催するワンコイン制度対象大会は、以下の通りです。

- 1 東京オープンテニス選手権大会 (一般、ベテラン)
- 2 全国小学生 東京大会
- 3 東京ジュニアテニス選手権大会
- 4 秋季選抜ジュニアテニス選手権大会
- 5 MUFJジュニアテニストーナメント東京予選大会
- 6 東京都ベテランテニス選手権大会
- 7 関東実業団対抗テニストーナメント東京大会
- 8 東京実業団対抗テニス大会 (春季・秋季リーグ)
- 9 東京実業団対抗ワンディリーグ
- 10 ダンロップ社会人テニス選手権大会
- 11 ダンロップミックスダブルス大会